

株式会社 丸井グループ

2026年3月期 第1四半期決算概要



2025年8月5日

26年3月期 第1四半期 決算概要および各事業の状況

- ・ 連結
- ・ 小売
- ・ フィンテック
- ・ 「好き」を応援するビジネス
- ・ バランスシート/資本配分
- ・ ESG/インパクト
- ・ 通期見通し

26年3月期 第1四半期 決算概要および各事業の状況

- ・ 連結
- ・ 小売
- ・ フィンテック
- ・ 「好き」を応援するビジネス
- ・ バランスシート/資本配分
- ・ ESG/インパクト
- ・ 通期見通し

① 総取扱高は**9%増の1兆2,840億円**（前年差+1,094億円）

② 営業利益は**37%増の139億円**（前年差+38億円）

○ 小売は7億円増益の25億円

○ フィンテックは30億円増益の135億円

実質営業利益*は4億円増益の110億円

③ 経常利益は**34%増の124億円**（前年差+31億円）

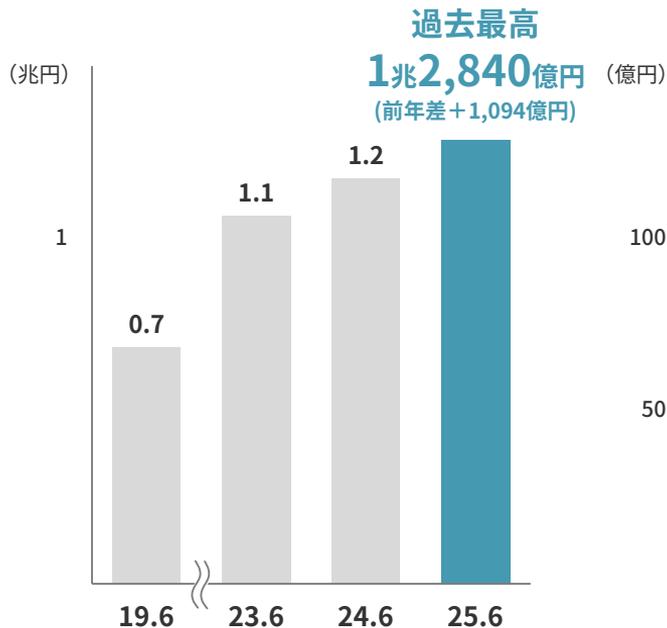
当期利益は**28%増の79億円**（前年差+17億円）



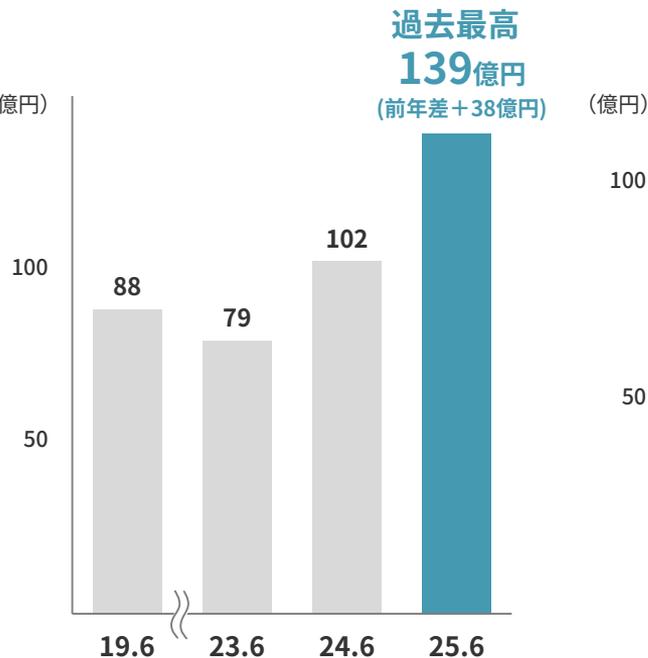
総取扱高・営業利益・経常利益・当期利益は、すべて**過去最高を更新**

* 実質営業利益 … 債権流動化の前年差影響を除く営業利益

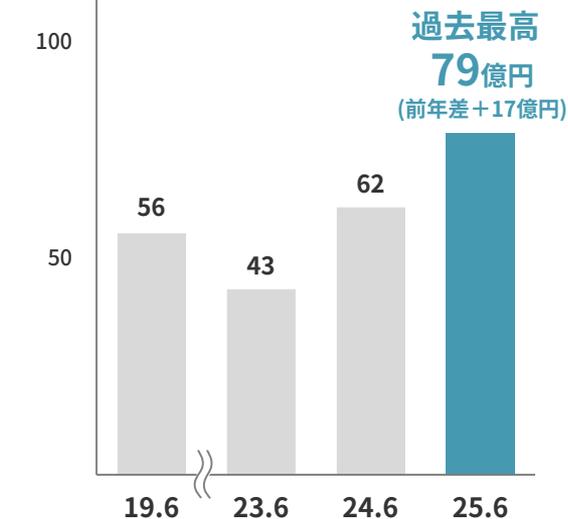
■ グループ総取扱高



■ 営業利益



■ 当期利益



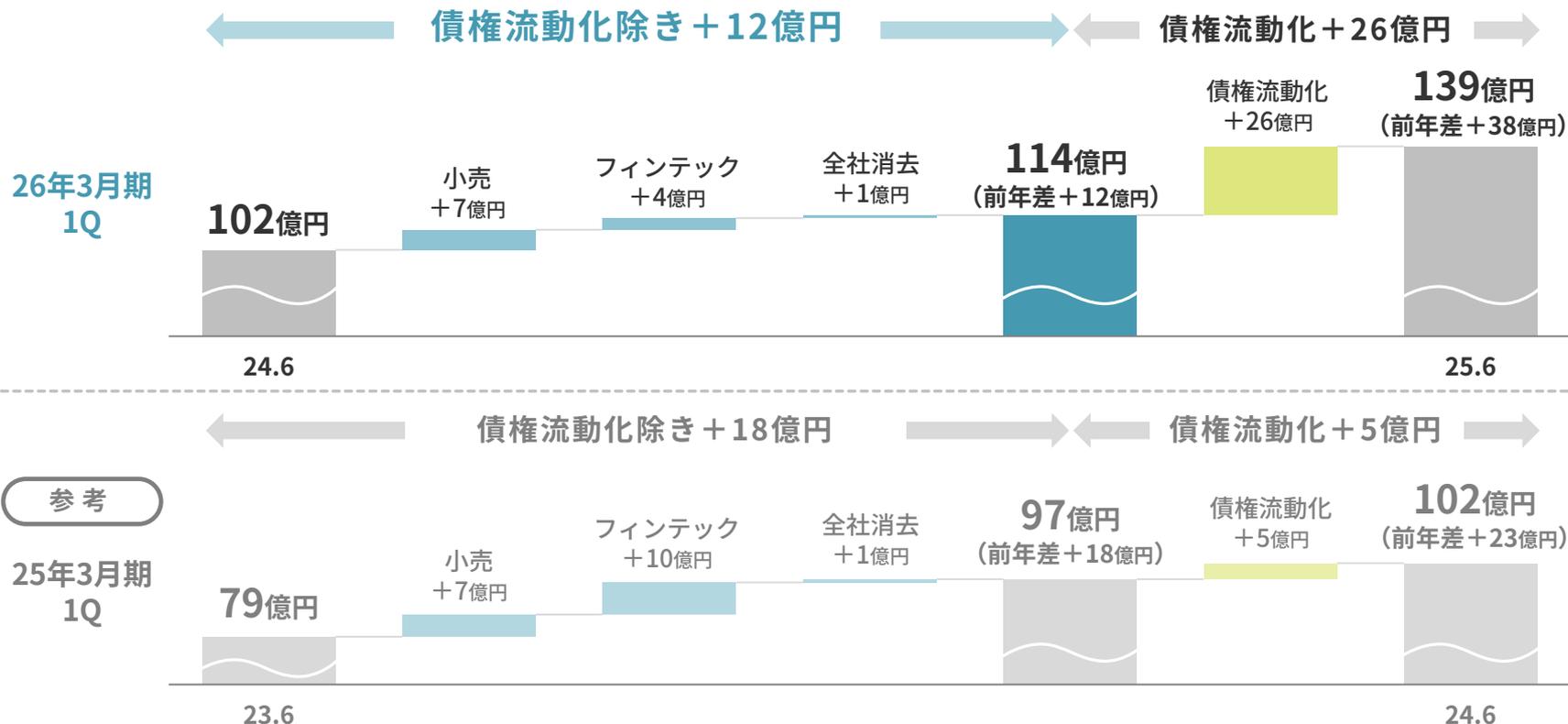
*企業会計基準第29号(収益認識に関する会計基準)等適用後の数値を記載

営業外損益 / 特別損益の状況

金利上昇の影響などにより、営業外費用は7億円増加

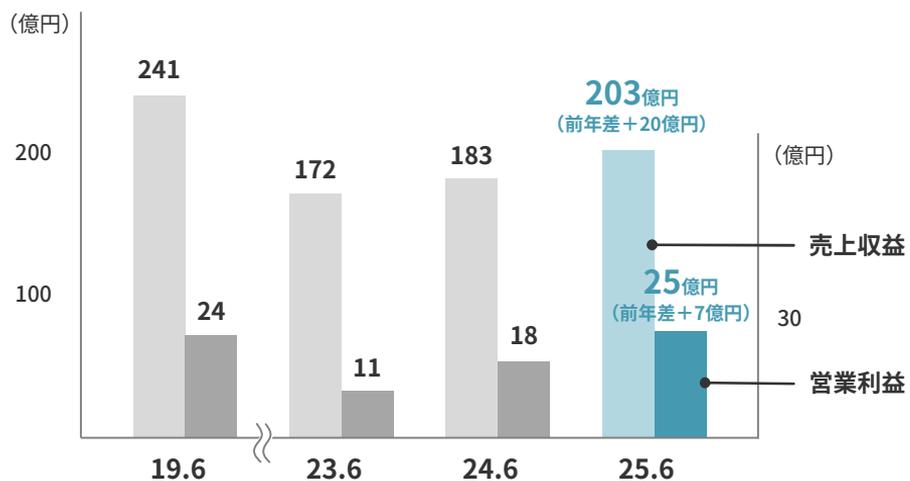
	25年3月期 1Q	26年3月期 1Q	前年比	前年差	前年差要因
	億円	億円	%	億円	
営業利益	102	139	137	+38	小売 +7 フィンテック +30
営業外収益	3	4	105	+0	
営業外費用	12	19	153	+7	金融費用 +8 <金利+7 残高+1>
経常利益	93	124	134	+31	
特別利益	7	2	29	△5	保有株売却 +1 不動産売却 △6
特別損失	11	7	61	△4	除却損 +3 店舗閉鎖 △8
税引前利益	89	119	134	+30	
当期利益	62	79	128	+17	

営業利益増減の内訳

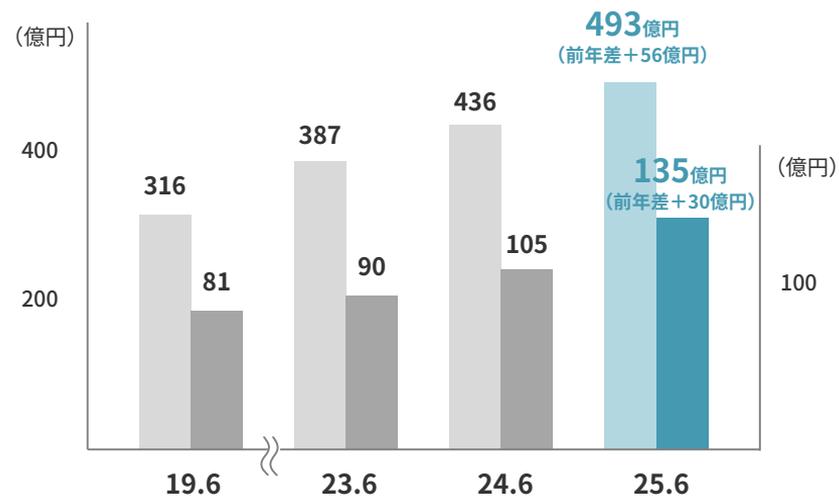


セグメント別の状況（売上収益・営業利益）

■ 小売



■ フィンテック



*企業会計基準第29号(収益認識に関する会計基準)等適用後の数値を記載

26年3月期 第1四半期 決算概要および各事業の状況

- ・ 連結
- ・ 小売
- ・ フィンテック
- ・ 「好き」を応援するビジネス
- ・ バランスシート/資本配分
- ・ ESG/インパクト
- ・ 通期見通し

小売 営業利益の増減内訳

第1四半期の営業利益はテナント・イベント収入の増加等により7億円の増益



定借面積増加と月坪家賃の単価アップ等により、前年に対し4億円増加

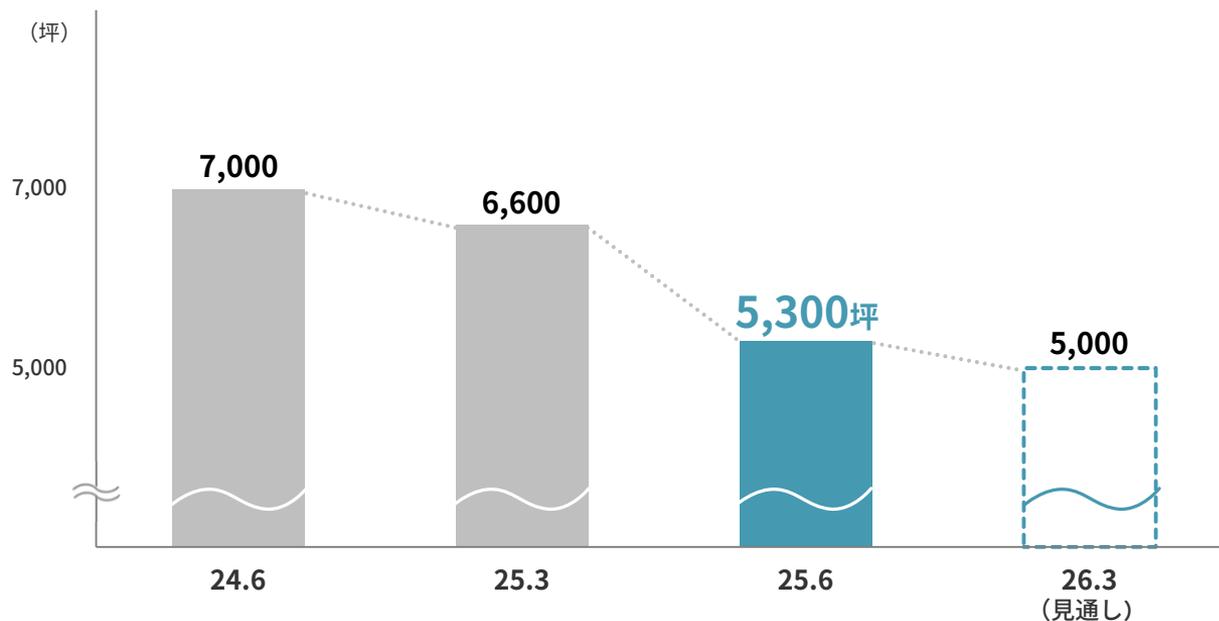
■ テナント収入の増加影響



*テナント収入は、定借テナント収入および消化仕入テナント収入の合計値です

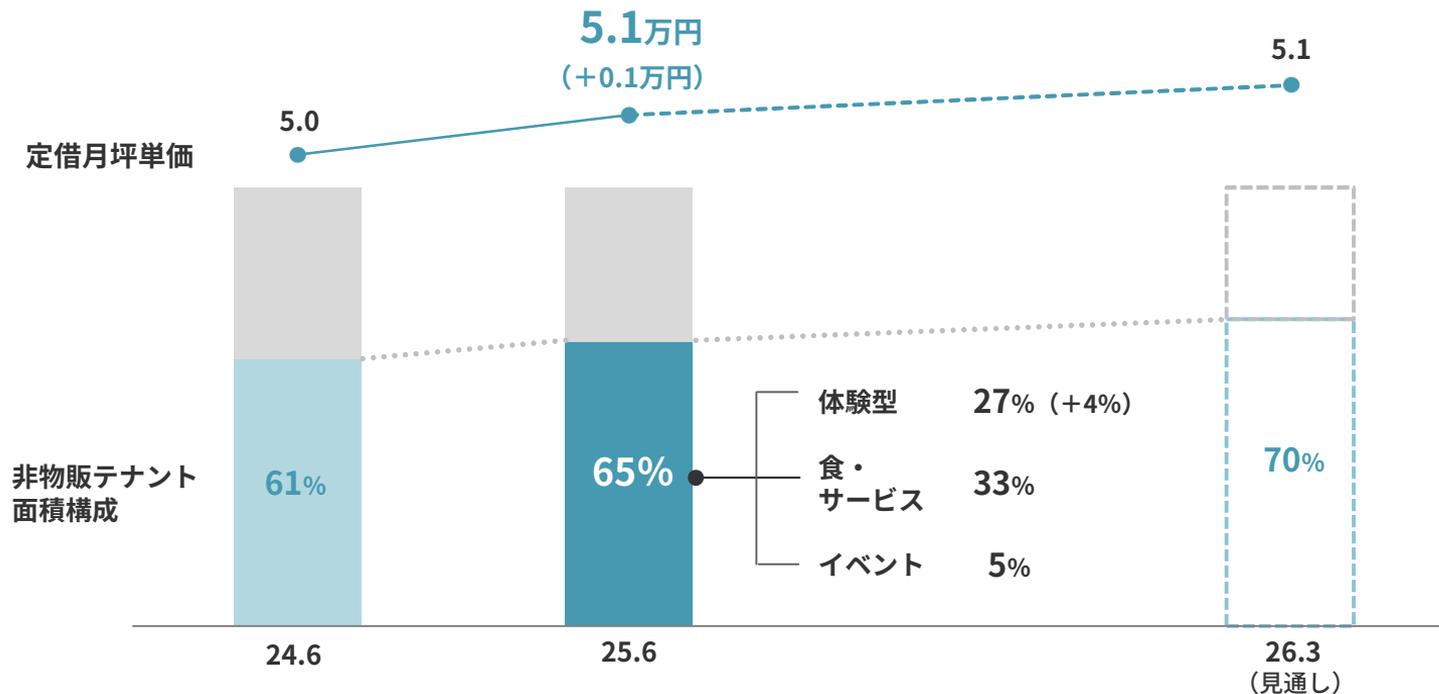
第1四半期の未稼働面積は5,300坪まで減少

■ 未稼働運行面積の推移（運行平均）



25年6月時点の非物販テナントの面積構成比は65%に拡大（前年差+4%）

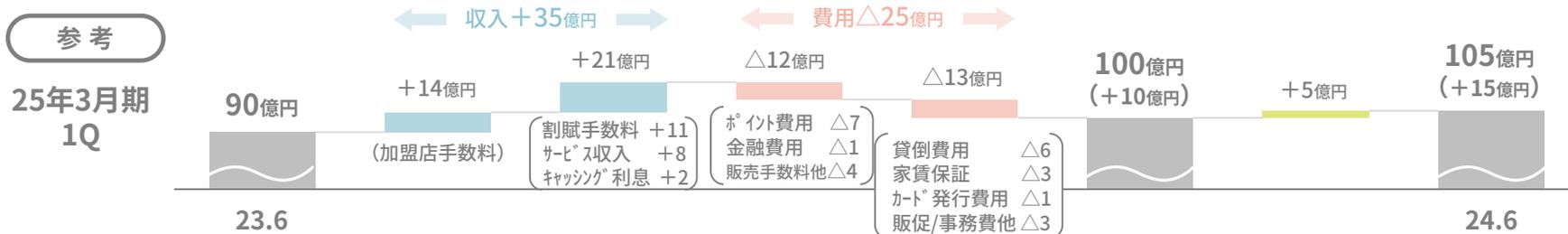
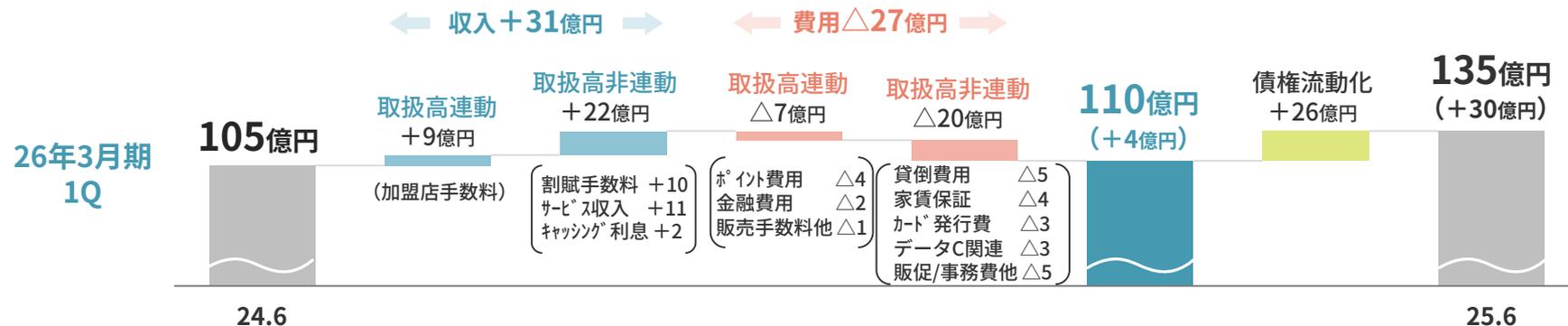
■ カテゴリ転換の推移



26年3月期 第1四半期 決算概要および各事業の状況

- ・ 連結
- ・ 小売
- ・ **フィンテック**
- ・ 「好き」を応援するビジネス
- ・ バランスシート/資本配分
- ・ ESG/インパクト
- ・ 通期見通し

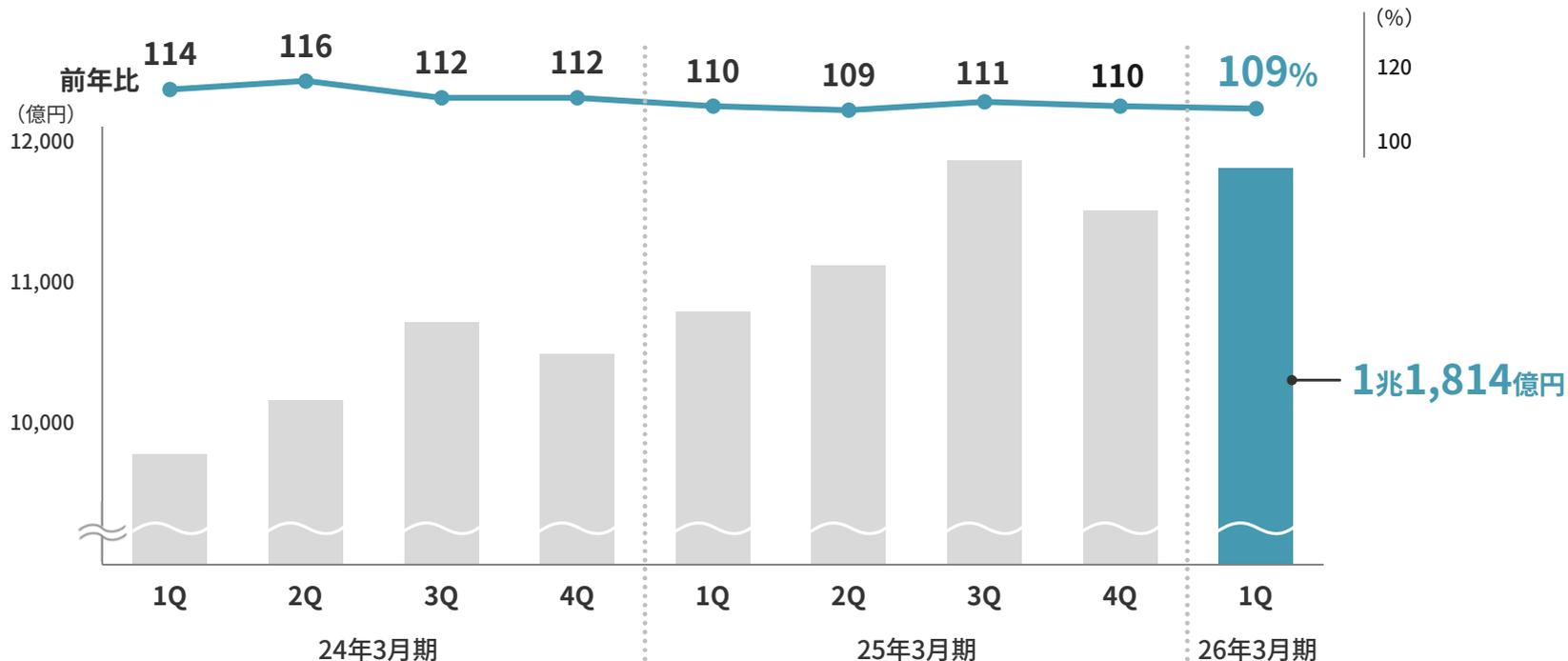
債権流動化の影響を除いた実質営業利益は4億円の増益



カードクレジット取扱高

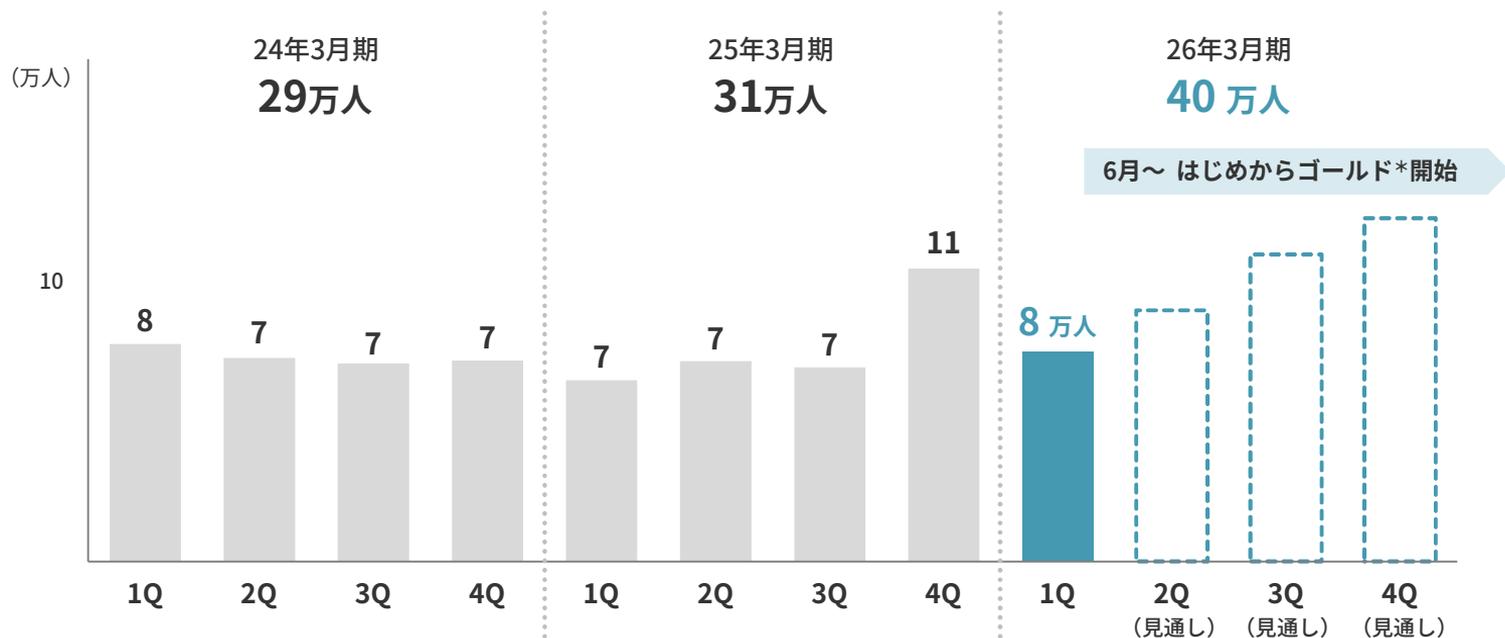
第1四半期の取扱高は1兆1,814億円（前年比109%）

■ カードクレジット取扱高の推移



はじめてからゴールド*等の取り組みにより、ゴールド新規客は前年を大きく上回る40万人を計画

■ ゴールド新規客の状況

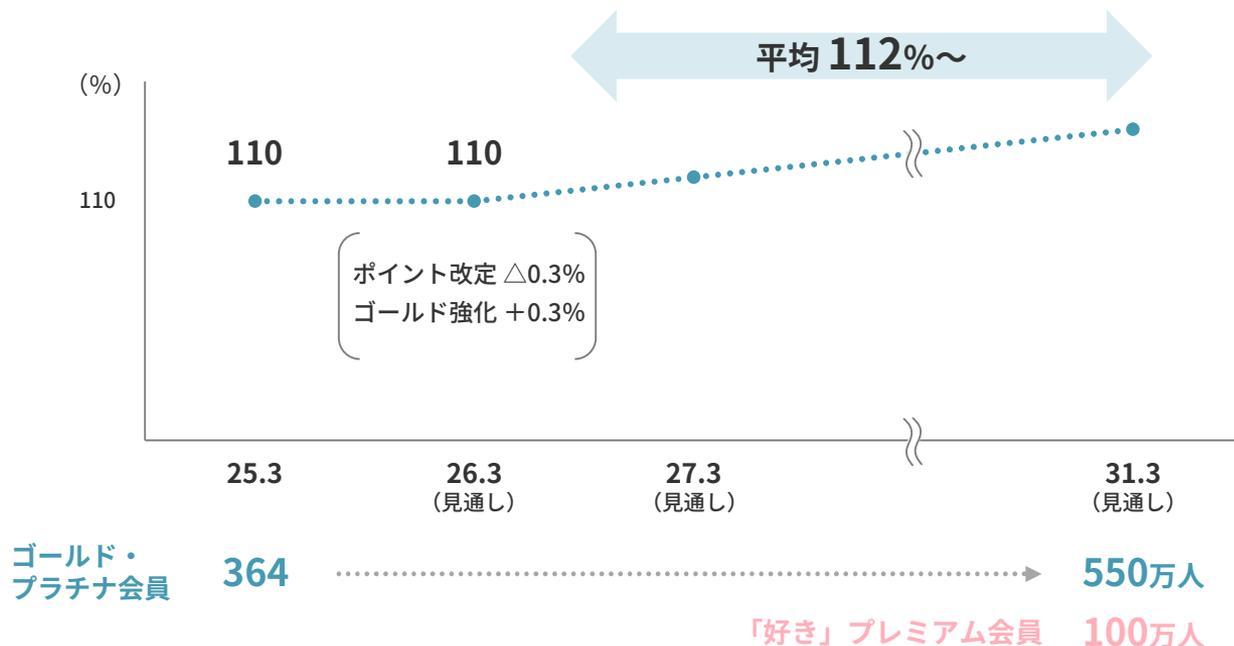


*エンベデッド・ファイナンスをご利用のお客様へ入会時からゴールドカードをご案内

カードクレジット取扱高成長の見通し

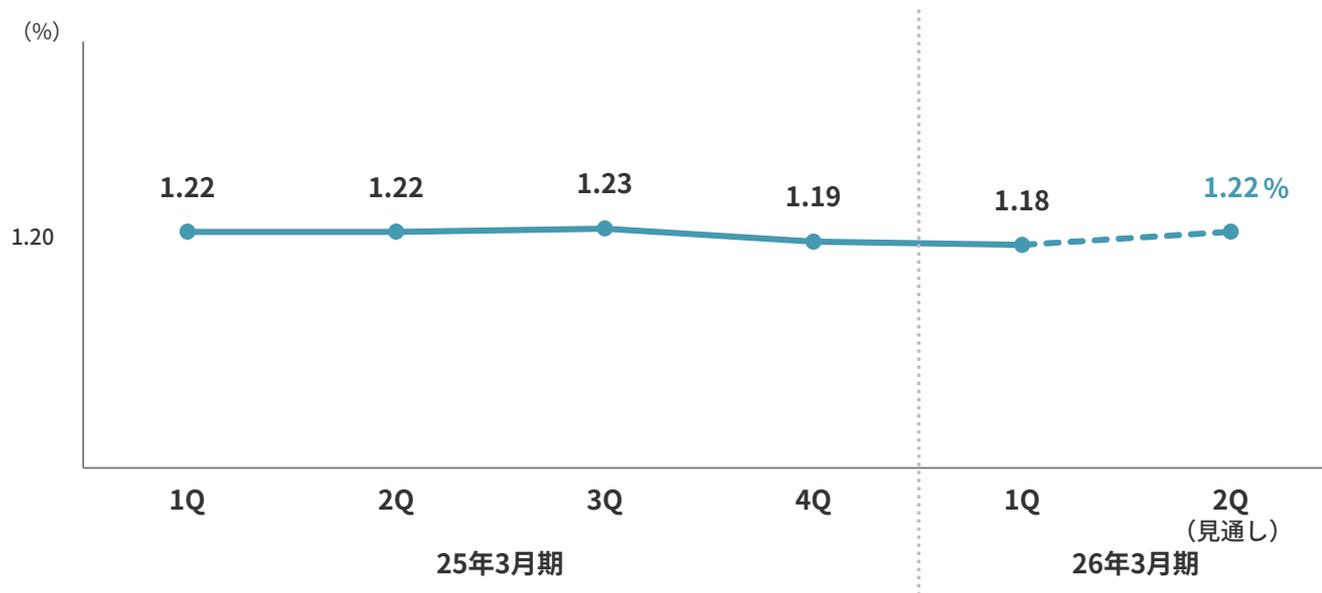
新規入会やゴールド新規客の拡大、「好き」プレミアム会員の創出により中計期間の成長率は12%を計画

■ カードクレジット取扱高成長の見通し



第1四半期の加盟店手数料率は1.18%、第2四半期は外貨決済手数料の見直しにより1.22%の見通し

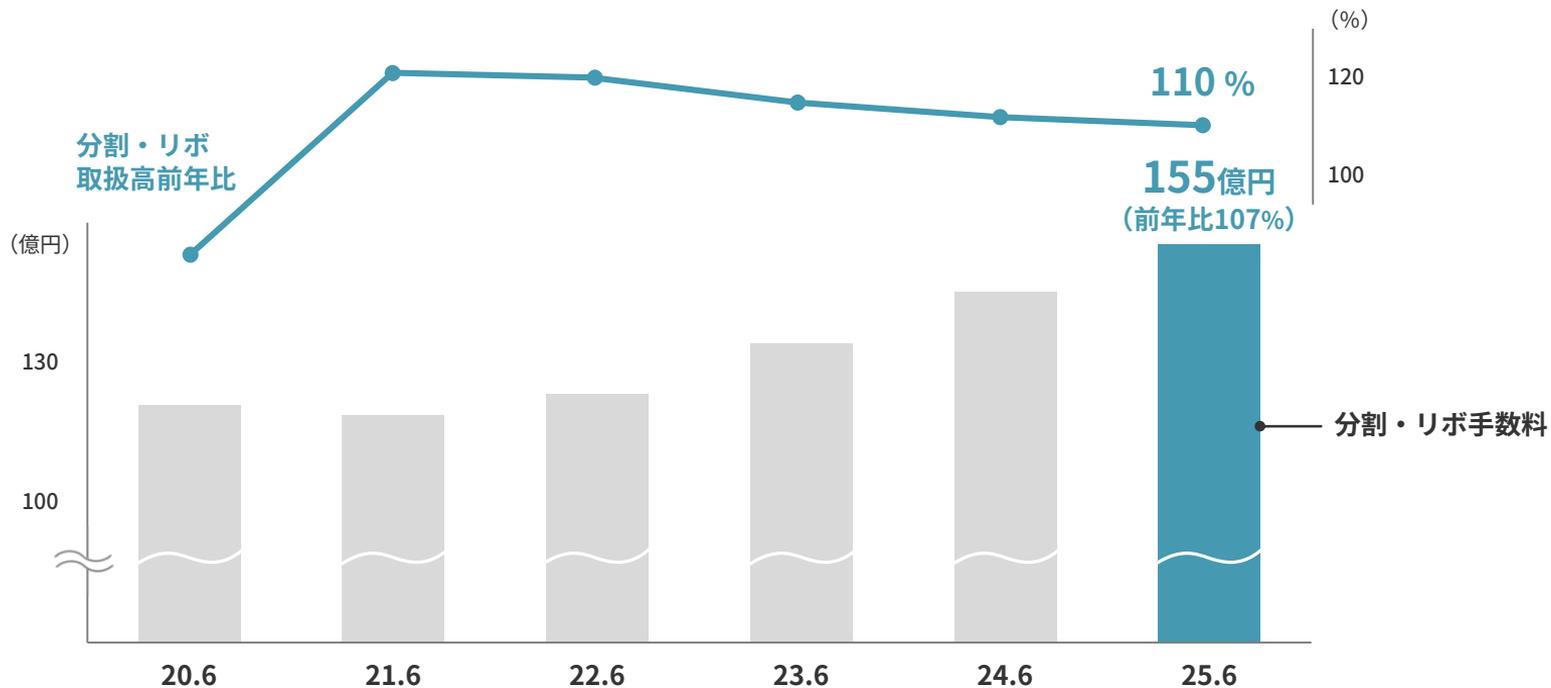
■ 加盟店手数料率の推移



*加盟店手数料率：フィンテック取扱高に対する加盟店手数料収入の比率

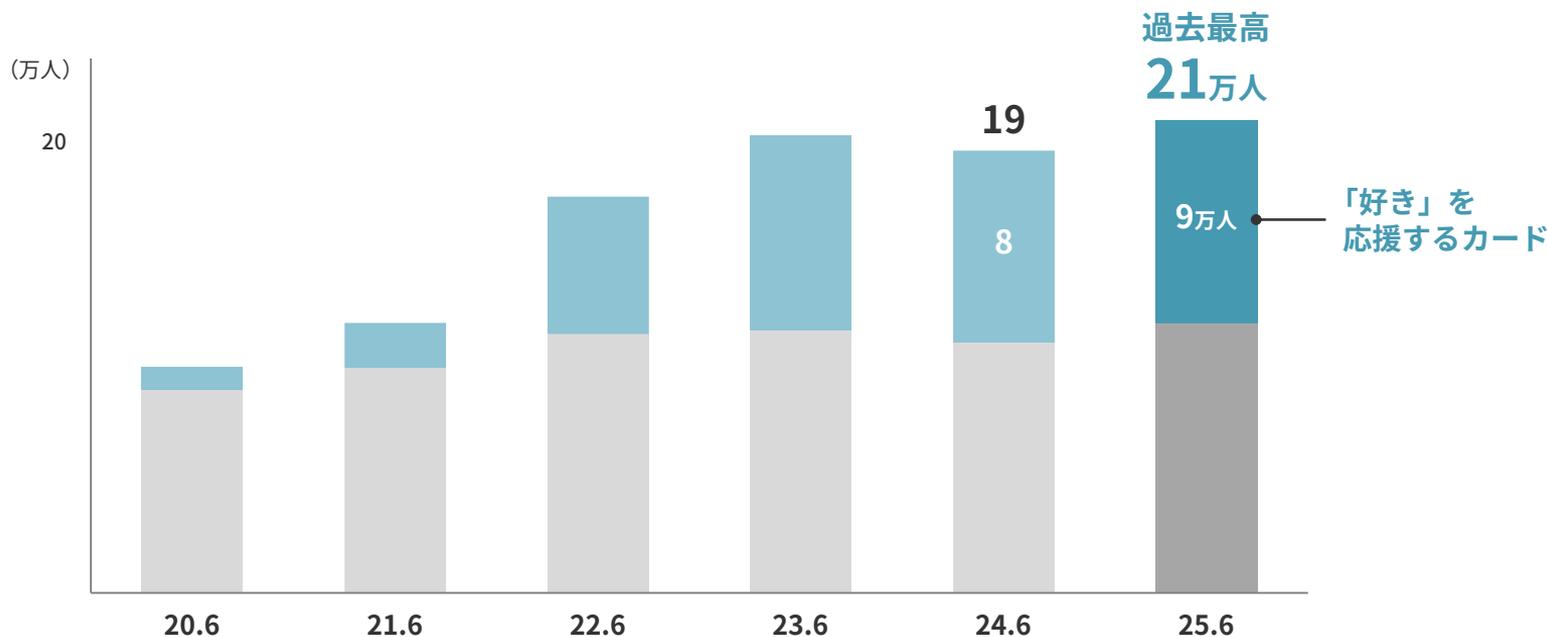
分割・リボ取扱高前年比は110%で推移し、手数料収入は7%増の155億円と順調に拡大

■ 分割・リボ手数料の推移



新規入会は「好き」を応援するカードなどが寄与し過去最高の21万人

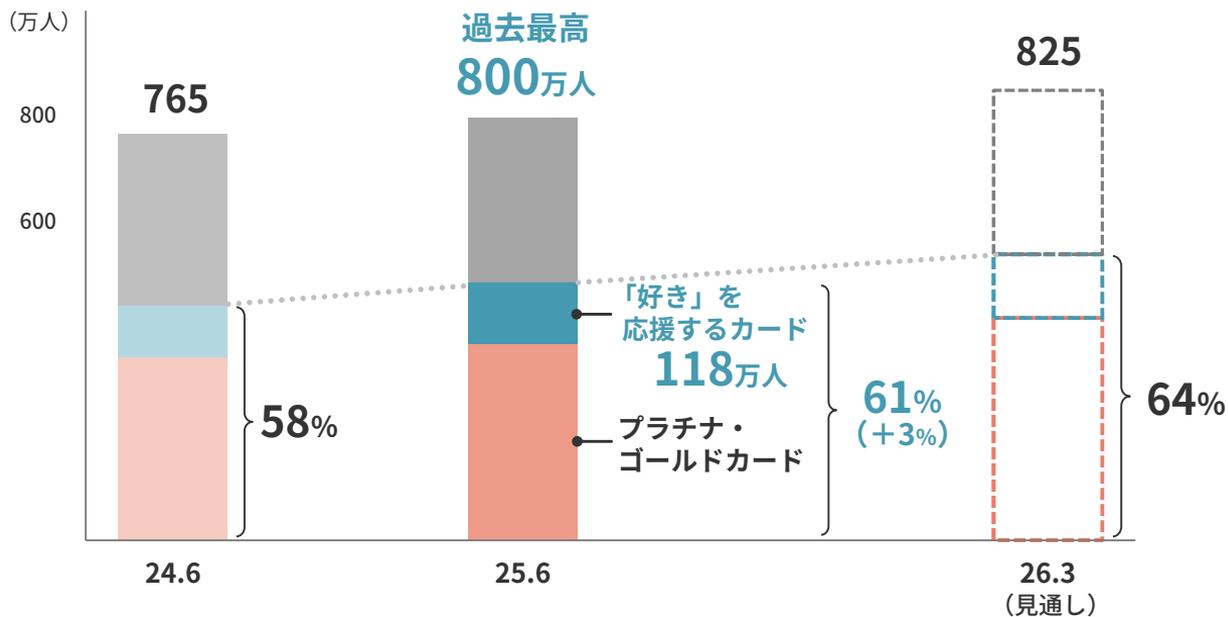
■ 新規入会の推移



カード会員数の状況

カード会員数は前年から35万人増加し過去最高の800万人を突破

■ カード会員数の推移

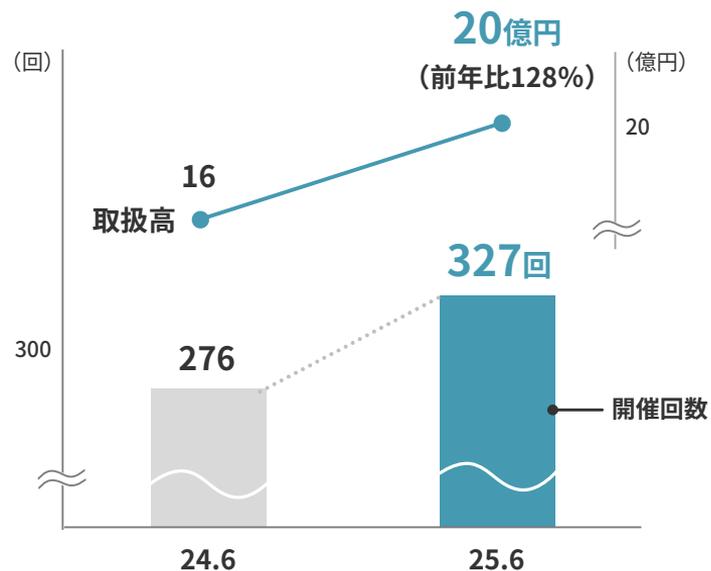


26年3月期 第1四半期 決算概要および各事業の状況

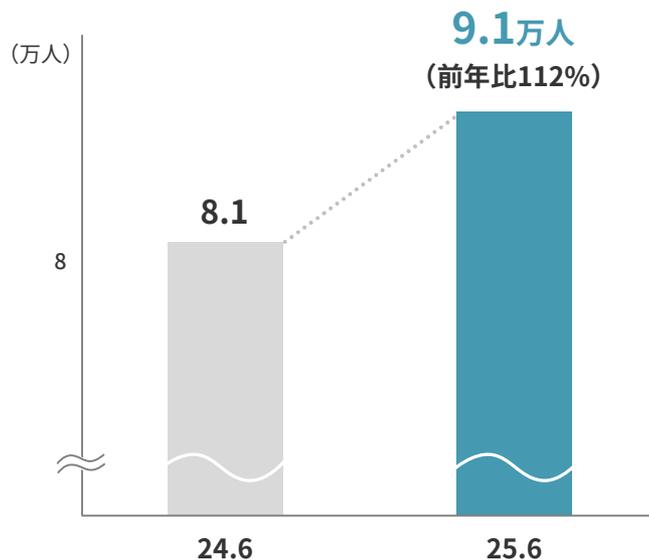
- ・ 連結
- ・ 小売
- ・ フィンテック
- ・ 「好き」を応援するビジネス
- ・ バランスシート/資本配分
- ・ ESG/インパクト
- ・ 通期見通し

イベント開催回数、イベント取扱高、カード新規入会ともに順調に拡大

■ 「好き」を応援するイベント開催回数・取扱高



■ 「好き」を応援するカード新規入会



人気コンテンツのポップアップショップを、全国の複数店舗で開催

TVアニメ「HUNTER×HUNTER」

(25年4～6月)



POP UP SHOP

(新宿アネックス・なんば・博多・外部)

ゲーム「たまごっちのプチプチおみせっち」

(25年4～6月)



初のPOP UP STORE エポスカード券面化デビュー記念

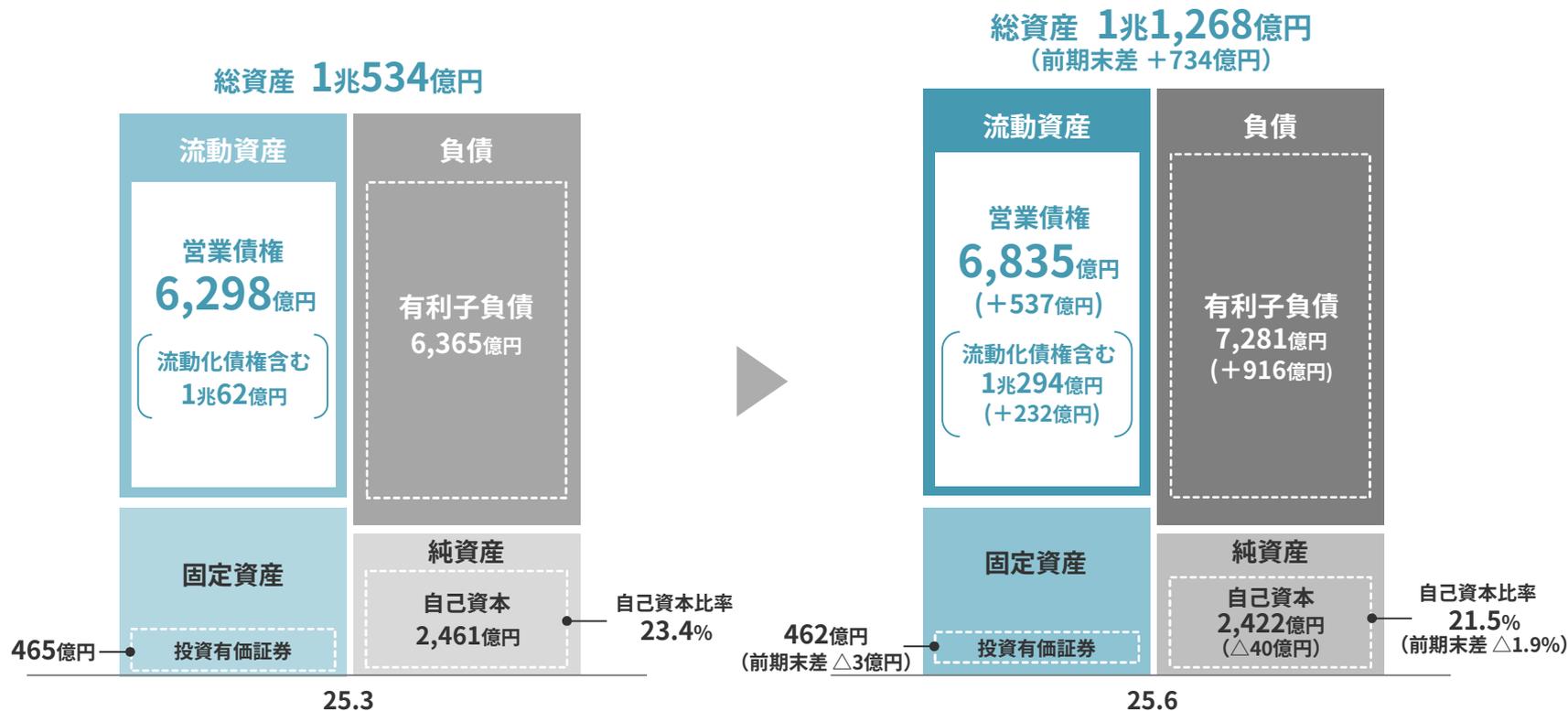
(新宿アネックス・外部・なんば)

26年3月期 第1四半期 決算概要および各事業の状況

- ・ 連結
- ・ 小売
- ・ フィンテック
- ・ 「好き」を応援するビジネス
- ・ **バランスシート/資本配分**
- ・ ESG/インパクト
- ・ 通期見通し

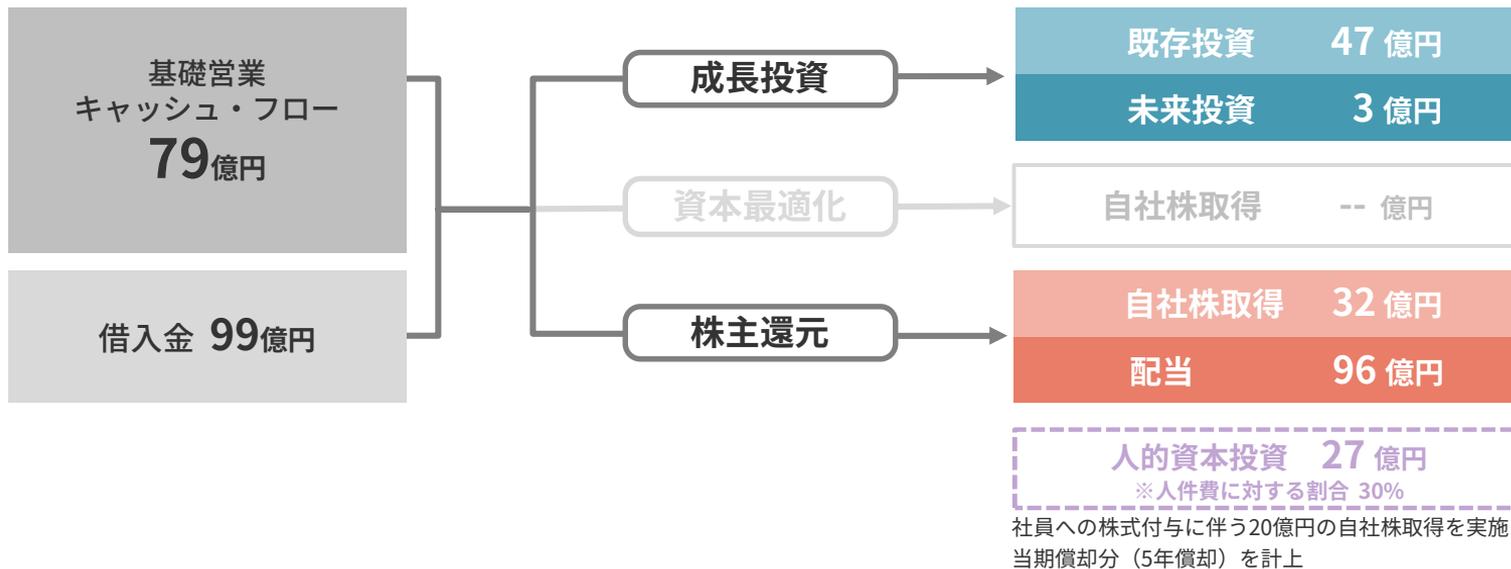
バランスシートの状況

総資産は営業債権の増加等より、前期末に比べて734億円増加



成長投資に50億円、株主還元には128億円を配分。人的資本投資は27億円で人件費に対する割合は30%

■ 資本配分（26年3月期 第1四半期）



7月に持合い先企業などが保有する丸井グループ株1,028万株を、個人投資家へ売出し



個人株主拡大による株価のボラティリティ抑制・資本コスト低減

購入した個人投資家

1万人 (25.3末時点：4.5万人)

個人株主比率

+ 5% (25.3末時点：12%)

*個人株主比率：「個人その他」区分の割合（自己株除き）

26年3月期 第1四半期 決算概要および各事業の状況

- ・ 連結
- ・ 小売
- ・ フィンテック
- ・ 「好き」を応援するビジネス
- ・ バランスシート/資本配分
- ・ **ESG/インパクト**
- ・ 通期見通し

7月に『FTSE4Good Index Series』、GPIFが採用するESG指数すべての構成銘柄に9年連続で継続選定

■ 主な外部評価

- Dow Jones Best-in-Class World Index 7年連続選定
- Dow Jones Best-in-Class Asia Pacific Index 8年連続選定
(24年12月)



9年連続
(25年7月)



6度目の認定
(25年2月)



FTSE Blossom
Japan Index



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index

2025 CONSTITUENT MSCIジャパン
ESGセレクト・リーダーズ指数

2025 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)
*2



*1 FTSE Russell (the trading name of FTSE International Limited and Frank Russell Company) confirms that MARUI GROUP CO., LTD. Has been independently assessed according to the FTSE4Good criteria, and has satisfied the requirements to become a constituent of the FTSE4Good Index Series. Created by the global index provider FTSE Russell, the FTSE4Good Index Series is designed to measure the performance of companies demonstrating strong Environmental, Social and Governance (ESG) practices. The FTSE4Good indices are used by a wide variety of market participants to create and assess responsible investment funds and other products.

*2 THE INCLUSION OF MARUI GROUP CO., LTD. IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICEMARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF MARUI GROUP CO., LTD. BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES. THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI. MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES.

一般財団法人「ソーシャル・イントラプレナー育成財団」の設立

6月25日に開催された第89回定時株主総会において170万株の有利発行が可決、7月30日に設立

一般財団法人

ソーシャル・イントラプレナー育成財団

年間約2億円の配当を活動原資として
寄附講座・授業などを提供



中学・高校・大学



社会課題解決

+

企業価値向上



(イメージ)

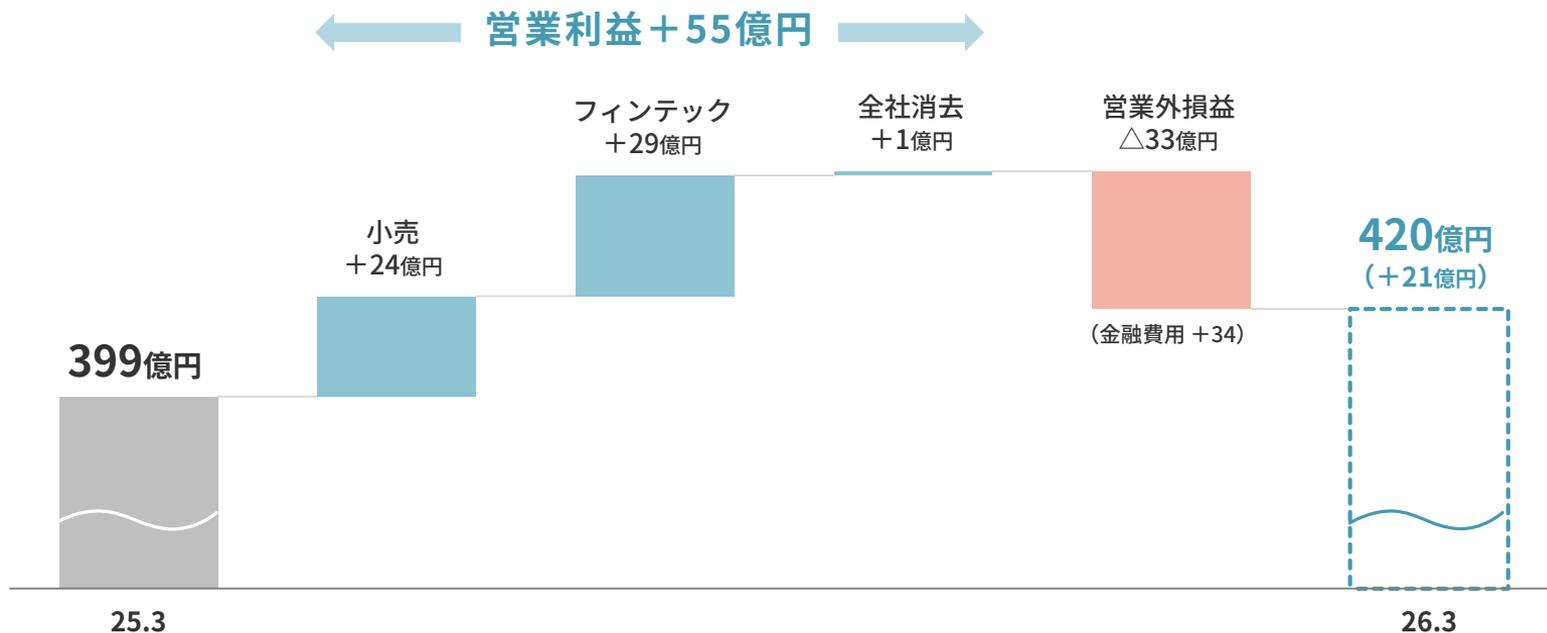
26年3月期 第1四半期 決算概要および各事業の状況

- ・ 連結
- ・ 小売
- ・ フィンテック
- ・ 「好き」を応援するビジネス
- ・ バランスシート/資本配分
- ・ ESG/インパクト
- ・ 通期見通し

EPS・ROE・ROICの3KPIは年初計画どおりの見通し

	25年3月期	26年3月期	前年比	前年差
EPS (円)	143.2	155.0	108	+11.8
ROE (%)	10.6	11.2	—	+0.6
ROIC (%)	3.8	3.9	—	+0.1
CO2削減量	39万t	50万t	128	+11万t
< 参考 >				
	兆 億円	兆 億円	%	億円
グループ総取扱高	4 9,269	5 3,900	109	+4,631
売上収益	2,544	2,725	107	+181
売上総利益	2,228	2,400	108	+172
販管費	1,782	1,900	107	+118
営業利益	445	500	112	+55
経常利益	399	420	105	+21
当期利益	266	280	105	+14

26年3月期の経常利益は5%増の420億円を見込む



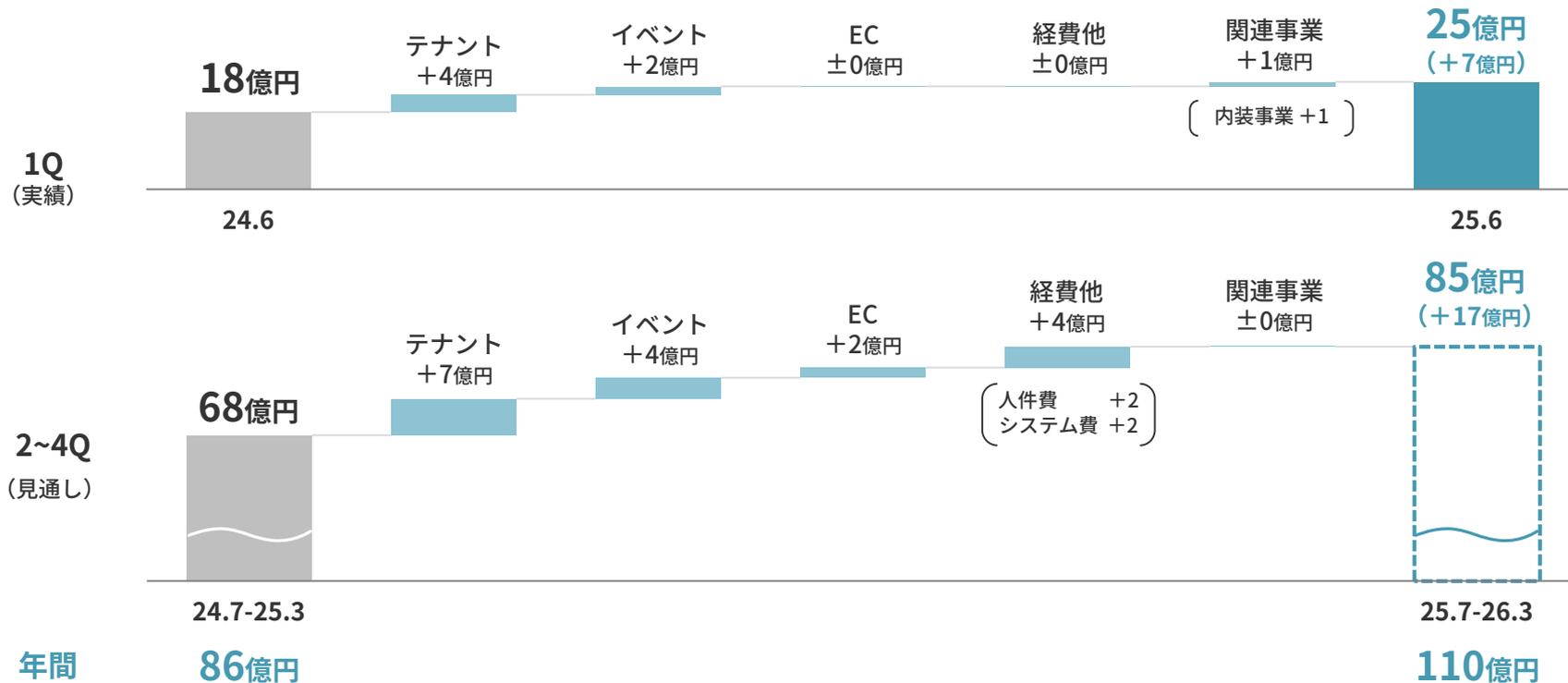
26年3月期 セグメント別営業利益見通し

小売は28%増の110億円、フィンテックは7%増の470億円を見込む

	25年3月期	26年3月期	前年比	前年差
	億円	億円	%	億円
小売	86	110	128	+24
フィンテック	441	470	107	+29
全社・消去	△81	△80	—	+1
連結営業利益	445	500	112	+55

小売 営業利益の見通し

2~4Qは、テナント・イベント収入の拡大等で17億円増益の見通し



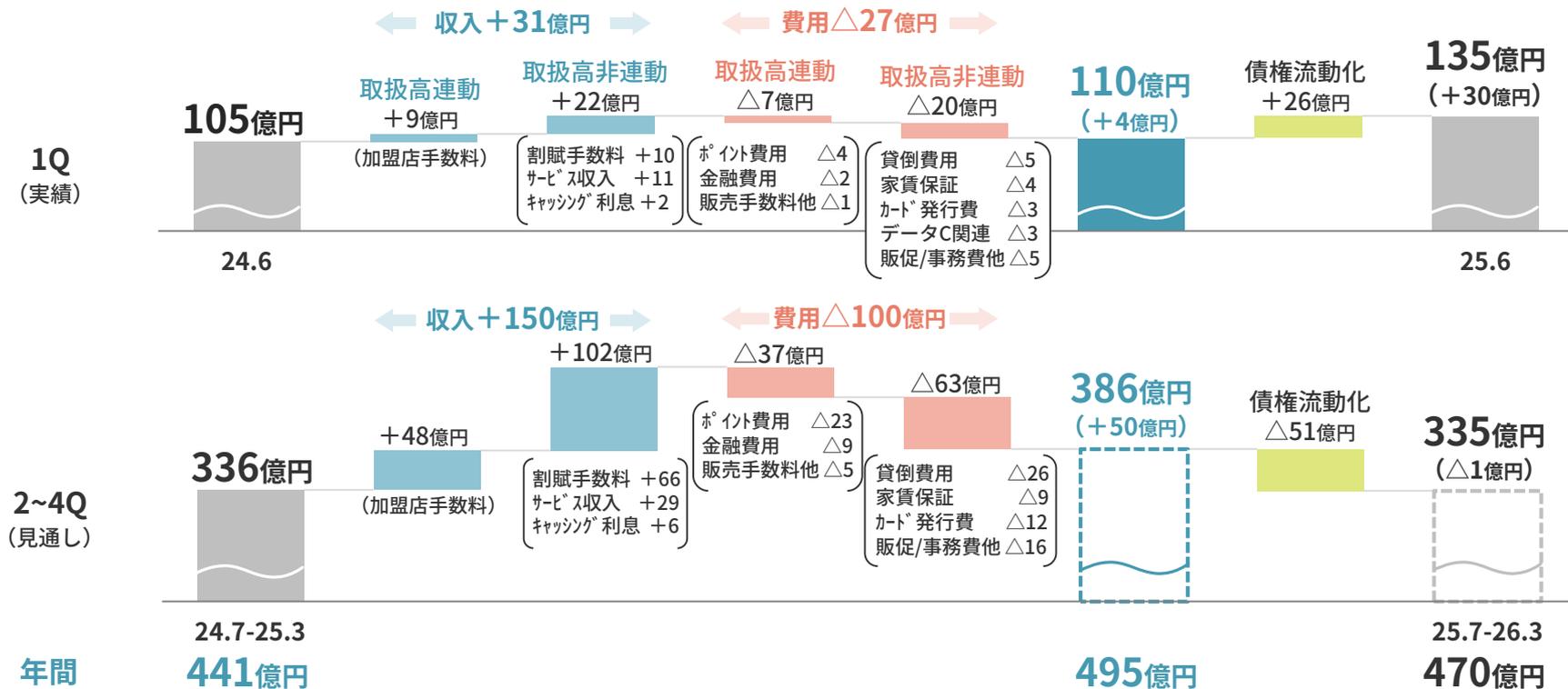
分割リボ手数料率の変更による下半期の調達リスクを踏まえ、第1四半期は債権流動化を前倒しで実施
 年間の債権譲渡益は減少を見込むも、手数料率変更の時期が当初想定より早まるため利益影響は無し

■ 利益への影響額

	当初計画 (億円)			見通し (億円)		
	年間 (見通し)	1Q	2Q~4Q (見通し)	年間 (見通し)	1Q	2Q~4Q (見通し)
債権流動化影響*	±0	±0	±0	△25	+25	△50
手数料率変更影響	+15		+15	+40		+40
合計	+15	±0	+15	+15	+25	△10

* 債権流動化による譲渡益および償却・配当等の合計額

今後の分割リボ手数料率変更と債権流動化のマイナス影響を踏まえ、年初計画どおりの見通し



「好き」が駆動する経済へ

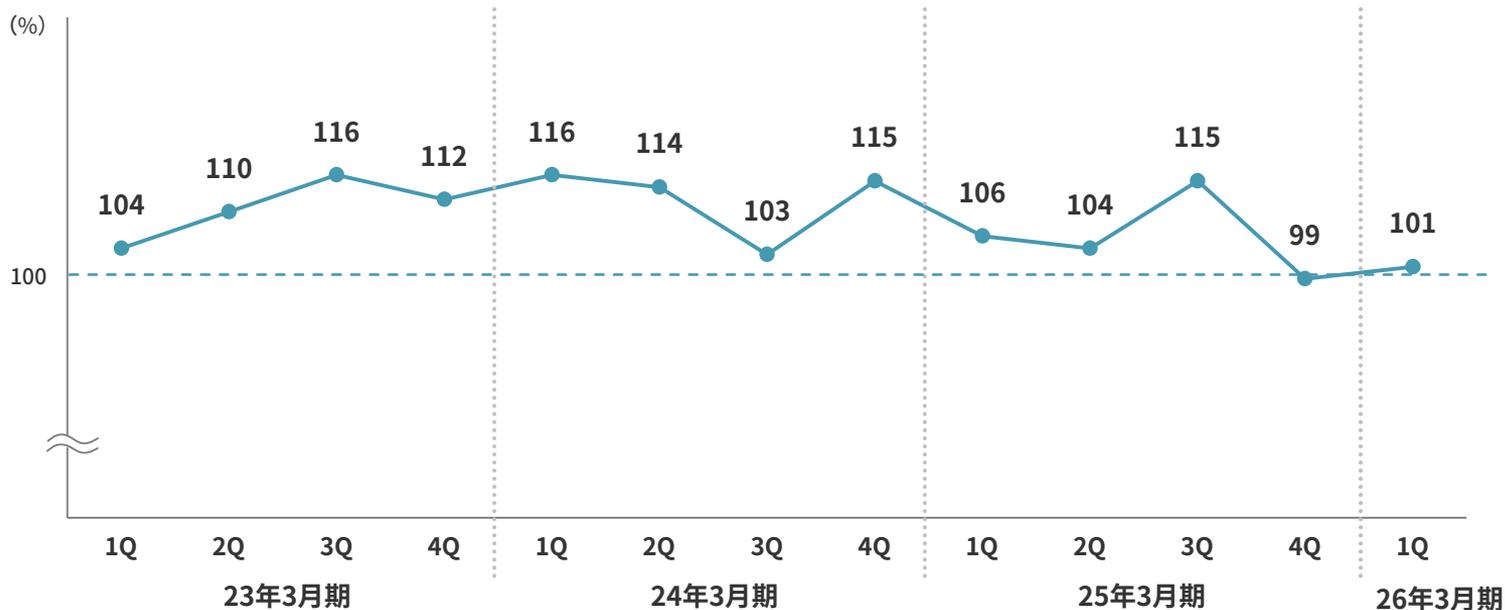
本資料に掲載しております将来の予測に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。お問い合わせは、I R部 marui-ir@0101.co.jpにご連絡ください。

Appendix



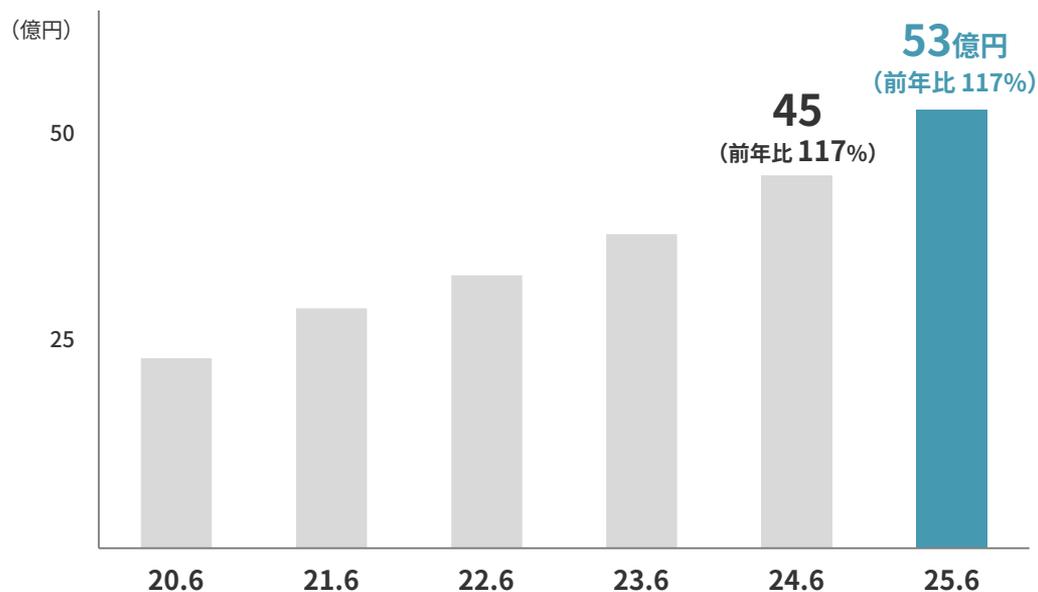
取扱高は前年比101%と、閏年影響等のあった前年第4四半期から増加に転じる

■ EC取扱高 前年比



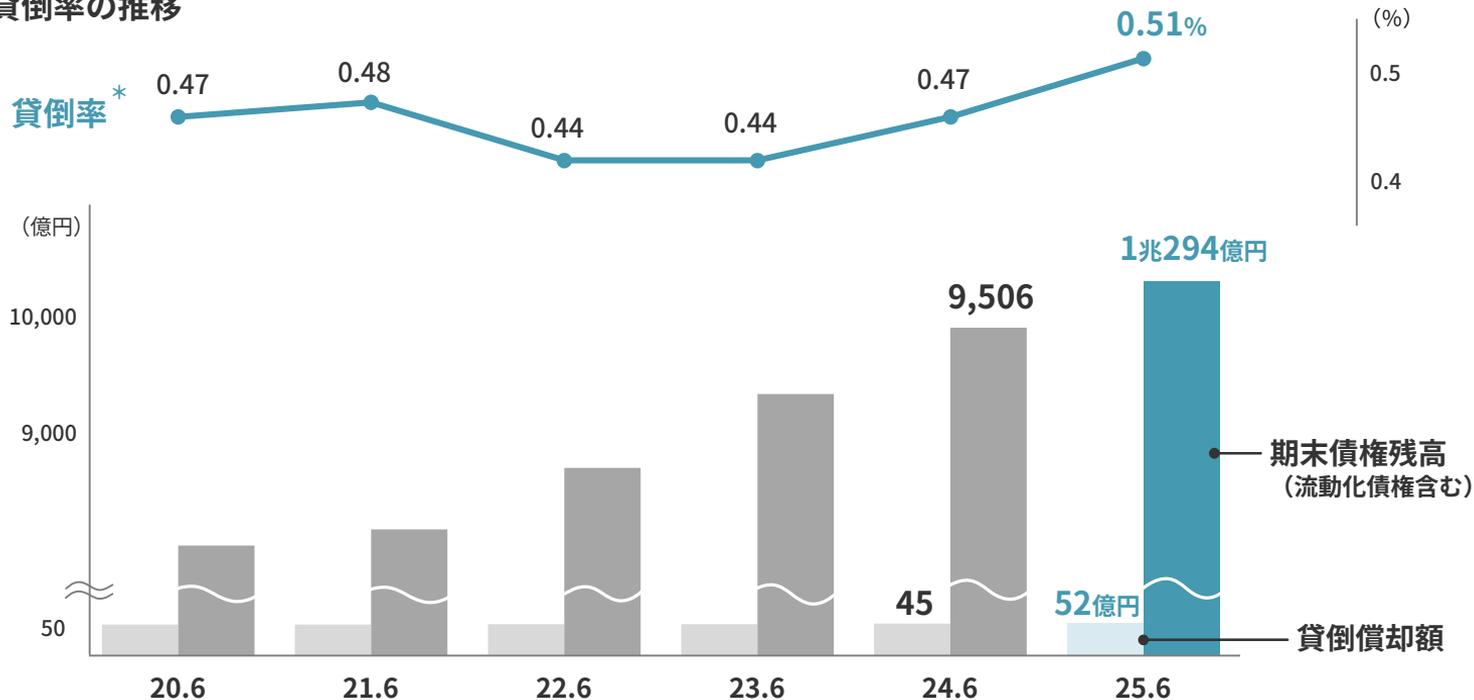
取扱高の伸長等により売上収益は17%増の53億円

■ 売上収益の推移



債権残高の拡大に伴う貸倒償却額の増加により、貸倒率は0.51%

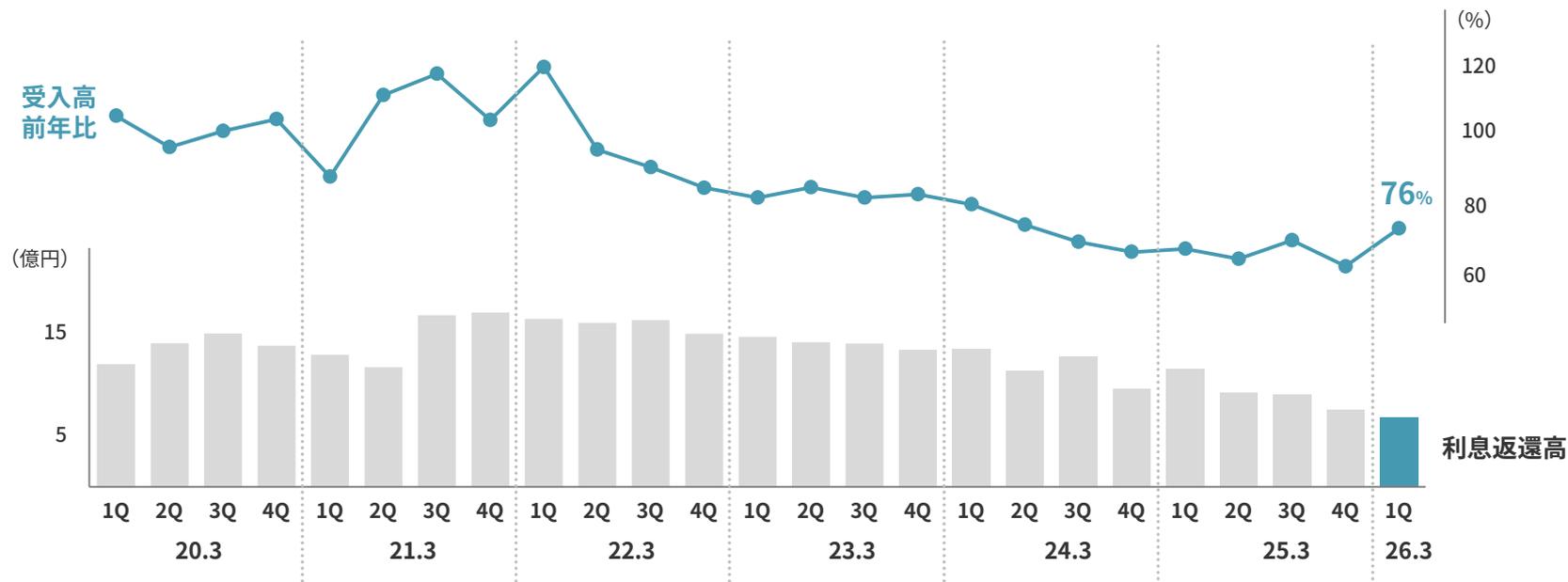
■ 貸倒率の推移



*貸倒率 = 当期貸倒償却額 ÷ 期末債権残高

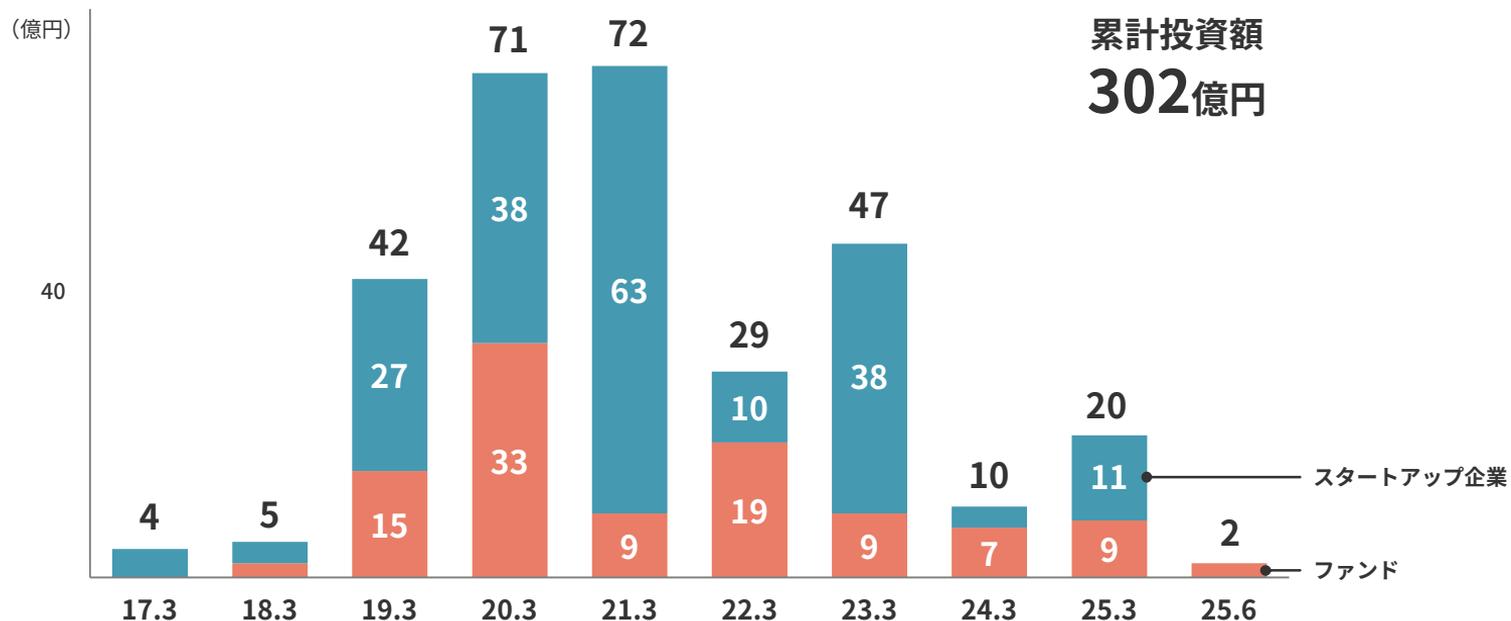
利息返還高は減少傾向も先行指標の受入高の状況などを踏まえ、継続して動向を注視

■ 利息返還高と受入高前年比の推移



第1四半期の投資額は2億円、これまでの累計額は302億円

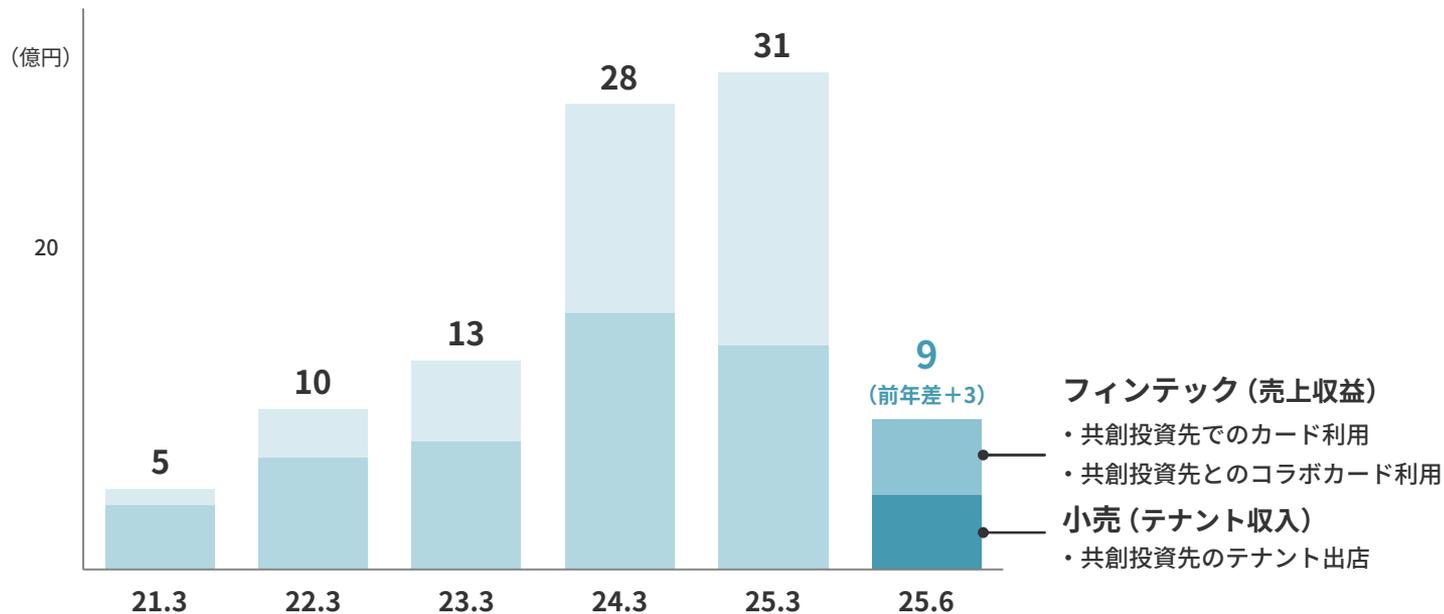
■ 共創投資の推移



*D2C & Co.からの投資を含む

第1四半期の貢献利益は9億円で、前年に対し3億円増加

■ 貢献利益額



*貢献利益は小売、フィンテックの営業利益に含む

END

